

「龍南中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立龍南中学校

2 学年・人数

1 学年 (46 人) 2 学年 (41 人) 3 学年 (29 人)

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月10日(土) 10:45~11:35 体育館

令和4年10月17日(月) 14:15~15:05 体育館

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月6日(日) 11:30~11:50 校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

八月踊り

(2) 由来

八月踊りは、旧暦8月に稲の収穫を祝って踊られる踊りである。日程は集落毎に異なり、10月下旬から11月初旬の数日かけて、時には夜通しで集落内の全戸を順に回りながら広場や庭で踊る習わしでした。現在は、簡略化されて、集落内の広場や新築、引っ越してきた家の庭で踊られることが多い。

しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大のために、各集落で行事が中止となり、八月踊りも実施されない時期が続いている。

本校では、体育大会で披露するために地域の方の協力をいただき、練習や発表をしていた。

(3) 構成等

体育大会での発表を目的としていたが、昨年度から伝統文化の継承を視点として、ICT機器を活用して島唄や言葉(ゆむた)を学び、各集落の方の協力をいただき、練習や発表に取り組んでいる。また、保護者の参加も呼びかけ、生徒と一緒に学ぶ機会を設定している。

5 保存会や地域との連携の具体

校区内の6集落の担当年を割り当て、各集落の保存会の方々の協力をいただいて実施している。地域PTA担当保護者と各集落区長が連携し、学校担当と調整しており、今年度は、学校自由参観日と合わせ、保護者の参加を呼びかけ、生徒と一緒に八月踊りを学ぶ機会を設定した。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

コロナ禍であり、感染拡大防止の観点から、ICT機器を活用して島唄を聞いたり、歌ったりする活動を行った。八月踊りを体験したことがない保護者も多いため、保護者と一緒に学ぶ機会を設定した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【八月踊りについて聴講】



【タブレットを活用して歌詞を覚える】



【実際に地域の方に学び踊る】



【地域の方と意見交換】

8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【2年生徒】

八月の踊りは、言葉も踊りも難しいと思いました。八月踊りの歌詞はすごく長いし踊りもすごく指先まで丁寧にしていたので、すごいと思いました。そして歌を聴いて僕も方言を覚えたいと思いました。また、踊りも凄く楽しそうに踊っていたので僕も一緒に踊りたい気分でした。これからは奄美の文化をいろいろ覚えていきたいと思います。

【教職員】

コロナ禍であったが、ICT機器を活用して、感染対策をしながら学びを止めることなく、楽しんで一緒に活動できたことは大変よかった。生徒が楽しく誇らしげに島の文化を体験することができ、地域の方に感謝です。

【地域の方から】

コロナ禍で心配されたが、生徒たちが真剣でありながら、楽しく踊ろうとする姿が印象的でした。どうにか地域でも踊る機会を設けたい。

【保護者の方から】

子どもと一緒に体験することができ、地域の方ともつながることができ、ありがたかったです。思ったより踊れました。地域で踊る機会があるといいなと思いました。